

県内経済の動き

概況

〔7月～9月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（7月）は2カ月ぶりに前月比、前年同月比共に上昇、通関輸出額（8月 細島港）は6カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（8月 全店ベース）は9カ月連続で前年同月比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（9月）、新設住宅着工戸数（8月）は共に3カ月ぶりに前年同月比減少した。公共工事（9月 保証対象請負総額）は5か月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（8月：1.49倍）は前月比0.05ポイント低下した。9月の企業倒産は、前月比5件減の2件となり、負債総額は1億43百万円と同71億48百万円減少した。

県内経済は、百貨店・スーパー販売額の前年割れが続くなど、個人消費の一部に弱さがみられるものの、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。